

医療社会科学Ⅰ 〈A4〉

教員名

非常勤講師 長岡 慶

Ⅰ 一般学習目標

医療人類学の基本的な概念や考え方を習得し、日本や世界の様々な事例を検討することを通して人間の生老病死に関するものの見方や価値観、行動の多様性を理解するとともに、医療と文化の関係を多角的視点からとらえる力を養う。

Ⅱ 個別学習目標

本講義では、以下の学習目標を設定する。

- ・医療人類学の基本的な視点・方法・理論を理解できる。
- ・病気、健康、治療、老い、死が文化的な多様性を有していることを説明できる。
- ・日常の暮らしにおいて病気や健康がどのようにとらえられているかに気を配ることができる。
- ・日本や世界における医療と文化の関係を考えることができる。
- ・病気や健康、医療に関する自身の価値観を相対化することができる。
- ・近代医療や薬剤のグローバル化に関する歴史的、社会的背景を説明できる。
- ・医師と患者の関係性や、病いの語り（ナラティブ）の重要性について理解できる。
- ・老いをめぐるケアや看取りのありかたについて考えることができる。
- ・うつやストレス、心の問題と現代社会との関わりを説明できる。
- ・プライマリー・ヘルスケアの概念や多元的医療状況について理解し、国際保健や医療協力力の現状と課題について考察することができる。

Ⅲ 教育内容

- 1 イン트로ダクション
- 2 病気と文化
- 3 呪術のリアリティ
- 4 憑依される身体
- 5 死と弔い
- 6 健康の開発史
- 7 近代医療のグローバル化
- 8 植物と薬剤
- 9 多元的医療システム
- 10 病いの語り
- 11 老いと看取り

- 12 うつをめぐり医療化とジェンダー
- 13 国際保健と医療協力
- 14 まとめ

IV 学習および教育方法

講義形式。適宜、映像資料や配付資料を通して先行研究や具体的事例を提示する。

V 評価の方法

期末試験(60%)、出席及び講義内に課すコメントペーパー(40%)で評価する。

VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。

講 義 日 程 表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R2.4.13	(月)	3	イントロダクション		長岡
2	R2.4.20	(月)	3	病気と文化		長岡
3	R2.4.27	(月)	3	呪術のリアリティ		長岡
4	R2..5.11	(月)	3	憑依される身体		長岡
5	R2..5.18	(月)	3	死と弔い		長岡
6	R2.5.25	(月)	3	健康の開発史		長岡
7	R2.6.1	(月)	3	近代医療のグローバル化		長岡
8	R2.6.8	(月)	3	植物と薬剤		長岡
9	R2.6.15	(月)	3	多元的医療システム		長岡
10	R2.6.22	(月)	3	病いの語り		長岡
11	R2.6.29	(月)	3	老いと看取り		長岡
12	R2.7.6	(月)	3	うつをめぐる医療化とジェンダー		長岡
13	R2.8.24	(月)	3	国際保健と医療協力		長岡
14	R2.8.31	(月)	3	まとめ		長岡